

教育課程の概要 **グランドデザイン**

めざす学校像

郷土を誇りに 学びの真道を求める学校
ひとりひとりが毎日楽しく過ごす学校
(「学びの真道」=「生きる力」)

教育振興基本計画

- ・社会全体で教育の向上に
- ・個性を尊重 個人社会の一員
- ・知性豊かな人間を養成
- ・安全安心の確保 質の高い教育環境を整備 (文科省)

新学習指導要領

- ・言語活動
- ・伝統や文化
- ・体験活動
- ・キャリア教育など
- ・理数教育
- ・道徳教育
- ・外国語活動

学校教育目標

心豊かでたくましく よく学ぶ 児童の育成

- よく考え進んで学ぶ子ども (かしこく)
- 思いやりの心をもち、助け合う子ども (やさしく)
- 心身を鍛え最後までやりぬく子ども (たくましく)

めざす教職員像

- 師弟同行、率先垂範を重んずる教職員 (教師こそ最良の教育モデル)
- 専門性を常に磨く教職員
- 情報をオープンに共有できる教職員
- 公正、公平を重んじ、信頼される教職員
- 組織の一員として連携できる教職員

めざす子ども像

- 「かしこく」
 - 進んで取り組む子**
 - ・意欲的に学ぶ子ども
 - ・よく考えて行動する子
 - 話を聴ける子**
 - ・話を最後まできちんと聴ける子ども
 - ・ルールを守る子ども
 - ・けじめがつけられる子ども
- 「やさしく」
 - あいさつできる子**
 - ・自分からあいさつできる子ども
 - ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子ども
 - 人の気持ちがわかる子**
 - ・思いやりの心で行動できる子ども
 - ・仲間と協力し、助け合う子ども
- 「たくましく」
 - 最後までやりぬく子**
 - ・心も体もたくましい子ども
 - ・始めたことを粘り強くやりぬく子ども

学校経営の方針

- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を基盤に児童に「生きる力」を身に付けさせる教育力の向上

- 教育課程編成の重点**
- 調和のとれた人間形成を図る適切な教育課程の編成と実施に努める。
 - 特別支援教育推進に向けて校内支援体制の一層の充実を図る。
 - どの子にとってもわかりやすい授業の構築を基盤に、基礎・基本の「習得」とそれらを「活用」して「思考力・判断力・表現力」の育成を目指し、「確かな学力」の育成を図る。(読み・書き・算数の力の育成)
(『家庭学習の手引き』を配布し、学校・家庭が連携して学力向上に取り組む。)
 - 道徳教育、体験活動、読書活動の充実を図り、心の居場所づくりに努める。(いじめ・不登校のない学校)
 - 安全・体力・健康に関する指導の充実を努める。(体力づくりの推進)
 - 家庭、地域との連携を深め「開かれた学校づくり」を推進する。
 - 将来の夢や希望を醸成するキャリア教育を実践する。
 - 校内研究や教職員評価の取組を通して教職員としての力量、資質の向上を目指す。

- 特色ある教育活動**
- (1) 基礎・基本の定着 ○計算力向上 ○文・漢字の読み書き ○言語活動充実 ○個への支援 ○繰り返し ○適切な宿題 ○家庭学習
 - (2) 豊かな心 ○道徳授業の充実 ○全教科領域での道徳 ○体験活動の充実 ○読書活動の充実 ○あいさつ運動
 - (3) たくましい心身 ○なわとびタイム ○クラブ活動 ○スキー教室(5・6年) ○太鼓練習(4年) ○早寝早起き朝ごはん
 - (4) 特別支援教育 ○校内委員会の積極開催 ○実態把握 ○支援計画 ○専門性向上 ○関係機関との連携 ○交流・共同学習
 - (5) 新しい視野 ○外国語活動 ○キャリア教育

<p>教科 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために思考力・判断力・表現力を育成する</p>	<p>道徳 基本的な生活習慣やルール、マナーなどを身に付けさせ、仲間を認め思いやりの心をはぐくむ</p>	<p>外国語活動 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p>	<p>総合的な学習の時間 課題解決的な学習や探究活動を通して、自ら考え、主体的に問題を解決する資質や能力をはぐくむ。</p>	<p>特別活動 集団の一員として生活できる自主的、実践的な態度を育て、自己の生き方について考える力を育成する。</p>
<p>学級・学年経営 児童理解に努める 学級集団づくり 情報交換と共有 特別支援学級と交流・共同学習、家庭や地域との連携 学習規律 学習習慣</p>		<p>通常の学級・特別支援学級の連携 (担任*コーディネーター)</p>	<p>学習環境 特別支援教育(ユニバーサルデザイン)の考え方 どの子にとっても過ごしやすい環境づくり 言語環境 家庭・地域との連携、関係機関との連携</p>	

教職員力

